

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 県営都市公園活性化戦略推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部都市公園整備局 都市公園課 活用推進係 電話番号：058-272-1111(内 3772)

E-mail: c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 115,548千円(前年度予算額：120,428千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	120,428	21,380	0	0	0	0	0	0	99,048
要求額	115,548	16,500	0	0	0	0	0	0	99,048
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・6つの県営都市公園を対象に、令和3年3月に「新・岐阜県都市公園活性化基本戦略」を策定し、アフターコロナ社会への対応を図る取組みをハード・ソフトの両面にわたって実施している。
- ・今後の県営都市公園は、ゲートウェイとしての機能強化や安全・安心な空間の提供など、多様な役割が求められていることから、各公園への横展開や他の観光施設等と連携した取組みが必要である。

(2) 事業内容

① 県営都市公園活性化展開事業

基本戦略に記載された取組みを着実に推進し、各公園に磨きをかけ、魅力を向上させるとともに、公園を核に周辺の地域資源をつなぐ事業(誘客PR事業等)を実施する。

② 県営都市公園活性化懇談会開催費用

基本戦略の取組に係る意見交換の場として、外部有識者や行政関係者などで構成する岐阜県都市公園活性化懇談会を開催する。

③ 啓発宣伝費用

活性化展開事業に関わる広報について、タイミングや媒体(手段)なども考慮し、機動的に実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

戦略に基づく活性化事業（指定管理者が指定管理者業務として行うものを除く）であり県が主体となって実施する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	3,100	有識者等関係者謝金
旅費	1,000	費用弁償、職員旅費
需用費	646	消耗品費：240千円、会議費：10千円、対外交流費：250千円、印刷製本費：146千円
役務費	80	通信運搬費
使用料	70	高速料金
委託料	110,652	活性化展開事業：98,294千円、広報：12,358千円
合計	115,548	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・新・岐阜県都市公園活性化基本戦略
- ・岐阜県成長・雇用戦略

7成長分野ごとの施策、(3)観光分野

主要観光地再生プロジェクト (1) 県営公園誘客促進プロジェクト

(2) 国・他県の状況

- ・都市公園に関する計画の策定 7都府県 (R3)

(3) 後年度の財政負担

基本戦略に基づき、ソフト・ハード両面において、継続して活性化策に取り組んでいく。

(4) 事業主体及びその妥当性

戦略に基づく活性化事業（指定管理者が指定管理者業務として行うものを除く）であり県が主体となって実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

- 新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

何をいつまでにどのような状態にしたいのか

- ・ 6公園合計の入園者数を戦略の終期（令和7年度）までに底上げする等

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
公園来園者数	774万人	539万人	—	—	1000万人	53.9%
養老公園	137万人	124万人				
里山公園	64万人	40万人				
河川環境楽園	463万人	286万人				
ローズガーデン	43万人	28万人				
百年公園	56万人	51万人				
各務原公園	11万人	10万人				

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新戦略の策定に向けた活性化懇談会の開催（9月、12月、2月） ・ ぎふワールド・ローズガーデン、里山公園、養老公園でコロナに対応した直営イベントを実施し、今後につながる新たな公園運営手法の実証実験を行った。
令和3年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	戦略に基づき、アフターコロナへの要請にも対応しながら、施策を実施していく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：まだ期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	戦略で定めた施策を計画的に実施されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	戦略で定めた多岐にわたる具体の施策を着実に実行している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 活性化に向けて戦略的に取り組み、魅力ある公園づくりを実施する。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 基本戦略で定めた県営都市公園の役割を果たすとともに、多様な地域資源をつなぐ拠点として「清流の国ぎふ」に相応しいブランドの確立に貢献していくため、計画的にソフト・ハード両面において展開していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	